

Sports Fukushima

スポーツふくしま

24
2010.12

(財) 福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



I will play sports
together!

**みんなで
スポーツを!**

巻頭言

運動部活動の教育的価値に思う

10月2日、あづま運動公園で行われた特別支援学校スポーツ大会を見る機会があった。

開会式での選手達は微動だにせず実に立派であった。女子バスケットボールの試合前の練習を見た。なかなかシュートが入らない、ボードにもボールがとどかない、そんな選手も多い。でも、選手は一生懸命で楽しそう。見ている我々も楽しくなった。フライングディスクや初めて見たポッチャ競技では障害の程度に合わせてルールや対戦が組まれているらしく電動車イスを使用している生徒も競技に参加していた。それぞれが楽しめるようルールや用具を工夫し、運営がなされており、参加する選手は皆、真剣にプレーしていた。

また、陸上競技では専門的な運営の下、国体で使用された同じトラックを選手達は力一杯疾走していた。子供達が保護者や仲間の声援を受け、感動を我々に与えてくれている。

思えば開会式で紹介をうけ、「みなさん、がんばってください。」と言ってしまったが、来年、開会式に参加する機会があれば、「すばらしいプレーをまた見せて下さい。」とお願いしよう。

文部科学省より先頃発表された、「スポーツ立国戦略」の中には学校体育・運動部活動を豊かなスポーツライフを実現する基礎となるものとして、その充実を図ることが示されている。また、地域の人材を活用して、外部指導者として導入し、一層の競技力の向上を目指すとしている。

今、高等学校の部活動加入率は50%を少し上回る程度である。過去、我々の世代が高校生であった頃は、文化部の生徒も含めると90%…いや、100%に近い活動率であったと思う。

生徒にとって、部活動が魅力ないものになってしまったのだろうか？進学のための塾通いで忙しいのだろうか？直接成績とは関係のない活動だからだろうか？人間関係が面倒なのだろうか？理由は様々である。部活動の種類や教員の指導力（専門性）など、生徒の要望に応えき

れていないこともあるだろう。

しかし、現在の若者たちの抱えているさまざまな問題を考えると、耐える力やコミュニケーション能力、困難を乗り越え協力して一つのことを成し遂げようとするときの強調性やたくましさなど、高校生らに育む必要性をあらためて強く感じている。

また、これらの求められる資質は授業で教えるだけでなく、彼ら自らの実体験を通して育まれる力である。その点から考えると運動部活動は、このような力を育む絶好の場であり、また、育んでいく必要があると考えている。

運動部活動が持つもう一つの魅力に、仲間のプレーを観る楽しみや応援する喜びがある。「力」と「技」の指導と共に「心」の指導が行われるとき、運動部活動の教育的価値が一層高まり、その後の充実・発展に結びついていくだろう。

運動部活動が教育課程に位置づけられたことは周知の通りだが、生徒にとって魅力ある運動部活動はどうあるべきか我々は今一度考えていかなければならない。

外国にはスポーツクラブが中心となって競技力を高めている国も多い。日本もそれに習って総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、生涯スポーツ・競技スポーツともに一層の発展を図っていこうとしている。これは「スポーツ立国戦略」にも盛り込まれている。

しかし、日本の学校体育、運動部活動は世界に誇れるすばらしい活動である。外国の教員が日本の体育の授業をみて感嘆の声をあげたり、運動部活動をうらやんだりする。

運動部活動の持つ教育的価値をもう一度見直し、より一層の競技力の向上や生徒の「心」の成長に寄与していきたいものである。



副会長 富田 昭夫
(福島県高等学校体育連盟 会長)

も

1 巻頭言

く

2 第65回 国民体育大会成績

じ

3 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿

8 「陸上王国福島」基盤整備事業

9 親子体操教室

10 スポレクとやま 2010

11 ふくしまスポーツフェスタ2010inきたかた

創立100周年記念シンポジウム開催報告

12 認定アスレティックトレーナー養成講習会

第1回 スポーツ指導者研修会

ゴルフ連盟 寄付について

13 みんなでつくろう総合型「ゆがわMYまいクラブ」

14 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

編集後記

インフォメーション

【表紙写真説明】

陸上競技少年女子A100mと100mハードル種目において2冠達成 伊藤彩 選手(喜多方高3年)
馬術競技少年団体障害飛越 優勝 宮野将太郎 選手(勿来工業高1年) 横山奈緒美 選手(小高商業高2年) 〈写真提供:福島民報社〉
自転車競技成年男子ポイントレース 優勝 窪木一茂 選手(日本大3年)〈写真提供:福島民友新聞社〉

第65回 国民体育大会成績

1 参加状況

大 会		区 分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派 遣 人 数			
							役 員	監 督	選 手	合 計
冬 季 大 会	スケート アイスホッケー 競技会	平成22年1月27日(水) ～1月31日(日)	北 海 道 市 釧 路 市	山口 勇	1	13	4 (1)	18	35 (1)	
	スキー競技会	平成22年2月25日(木) ～1月28日(日)	北 海 道 市 札幌 市	渡部 孝美	1	10	9	47	66	
本 大 会		平成22年9月25日(土) ～10月5日(火) (水泳:9月8日(水) ～9月12日(日)) (ゴルフ:9月22日(水) ～9月23日(木))	千 葉 県 千 葉 市 他	杉山 純一	37	19	68 (87)	382 (17)	469 (104)	

※1 派遣人数の()は競技団体派遣者で外数 ※2 監督のうち11名は選手兼任

2 競技成績

区 分		男女総合得点(天皇杯)				女子総合得点(皇后杯)			
大 会		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬 季 大 会		13.0 点	30 点	43.0 点	24 位	4.0 点	20 点	24.0 点	24 位
	スケート競技会	4.0 点	10 点	14.0 点	21 位	4.0 点	10 点	14.0 点	19 位
	アイスホッケー競技会	0.0 点	10 点	10.0 点	10 位	—	—	—	—
	スキー競技会	9.0 点	10 点	19.0 点	16 位	0.0 点	10 点	10.0 点	18 位
本 大 会		302.5 点	370 点	672.5 点	42 位	61.5 点	280 点	341.5 点	46 位
合 計		315.5 点	400 点	715.5 点	43 位	65.5 点	300 点	365.5 点	44 位



マスコットキャラクター「チーバくん」

杉山純一選手団団長(左上下)
ブラカーダーの増田彩乃さん(植草学園大学附属高校3年)(中左上)

旗手を務めたセーリング競技高橋香選手

国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿



陸上競技成年男子400Mハードル
2位 記野友晴 選手(福岡大3年)
〈写真提供:福島民報社〉

●陸上競技 競技得点56.0点 天皇杯14位 皇后杯8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	1500m	5	4	佐藤大樹	日立電線
	400mハードル	2	7	記野友晴	福岡大学3年
成年女子	400m	3	6	千葉麻美	ナチュリル
少年男子A	5000m	5	4	今井憲久	学法石川高等学校3年
少年男子共通	800m	3	6	増田優太	会津農林高等学校3年
少年女子A	100m	1	8	伊藤彩	喜多方高等学校3年
	100mハードル	1	8	伊藤彩	喜多方高等学校3年
	400m	3	6	齋藤鈴香	会津学鳳高等学校3年
	走幅跳	4	5	五十嵐麻央	会津学鳳高等学校3年
成年少年女子	4×100mリレー	7	2	國井朋花	植田中学校3年
				伊藤彩	喜多方高等学校3年
				渡部美来	会津学鳳高等学校2年
				千葉麻美	ナチュリル

●剣道競技 競技得点7.5点 天皇杯18位 皇后杯12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	7.5	松永美弥	福島県警察
				篠原愛	社会福祉法人育成会いわき希望の園
				佐藤さとみ	福島県剣道連盟

●ボート競技 競技得点1.0点 天皇杯35位 皇后杯25位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	シングルスカル	8	1	鈴木芽生	鹿屋体育大学1年

●ライフル射撃競技 競技得点4.0点 天皇杯32位 皇后杯32位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	10mエア・ライフル立射(20発)	5	4	捧徳之	日大東北高等学校3年



ボート競技成年女子シングルスカル
8位 鈴木芽生 選手(鹿屋体育大1年)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



ライフル射撃競技少年男子
5位 捧徳之 選手
(日大東北高3年)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



ボウリング競技成年女子
石塚香織 選手(株維芯)
〈写真提供:福島民友新聞社〉

千葉国体に参加して

喜多方高等学校 伊藤 彩

私が初めて国体に参加したのは、中学3年生のときでした。100m障害に出場したのですが、予選落ちでとても悔しい思いをしました。そして、喜多方高校に入学し、山内先生のご指導のもと、3年間練習に励んできました。その結果、今年のインターハイと国体で優勝することができました。中学3年生の頃の私には、全く想像することができなかった嬉しい結果となりました。

千葉国体の少年A100mは、優勝できるとは思ってもしなかったので写真判定で優勝と分かった時、驚きと喜びでいっぱいでした。

100m障害の決勝前は、今までにない緊張でした。しかし、福島県のチームの皆様がサポートして下さったおかげで、自己ベストで優勝することができました。

最終日の4×100mRでは、國井さん、渡部さん、千葉さんとバトンを繋ぎ、7位に入賞することができました。皆で心を合わせて走ることができ充実したレースでした。

このような成績が残せたのも、3年間ご指導して下さいました山内先生、チーム福島の皆様方のおかげです。これからも日々努力を続け福島県の代表として国体で活躍し、また世界を目指す選手になりたいと思います。本当にありがとうございました。



シーズンの締め括りと今後の活動

ミズノ 山口 雅文



国民体育大会は毎年シーズン最後の試合になることが多く、いつも気持ちを引き締めて臨んでいます。

今年は8月に行われたパンパシフィック選手権をメインの大会としておりましたので、この大会が終了し、国民体育大会まで3週間ほどであったため、なかなか調整が難しかったなか、2位という好成績を残すことができました。

私は高校2年の宮城大会に初出場してから今年の千葉大会まで、10回連続出場しておりますが、毎年毎年、多くの福島県民の方々に応援していただいているおかげで毎大会、決勝に進出し、得点を取ることができていると思っています。

福島県民の皆様には多くのご支援をしていただいておりますが、この国民体育大会で良い成績を残すことでしか恩返しのできないので、どんなことがあっても毎年出場してきました。

ですが未だに優勝という成績を残すことができておらず、来年こそはという意気込みで新しいシーズンを頑張っていきたいと思っています。

話は変わりますが、ここ数年の国民体育大会で僕が感じていることなのですが、競泳競技では、今まで大学卒業と共に競技を引退するという選手が多かったのですが、ここ数年でそれが変化してきており、社会人として働きながら競技を続けようとしている選手が多くできています。

このような選手が増えてきている中、どんなに良い成績を残し、実力がある選手でも、なかなか就職先が見つからず、やむなく引退に追い込まれていく選手も多く見てきました。私は幸運が良かったため、今もミズノスイムチームに所属させてもらい、恵まれた環境で選手を続けていられていますが、運が悪ければ就職先が見つからず、競技を引退していたかもしれません。

そこでこのような選手を何らかの形で競技を続けさせてあげられないのか？と考えています。私ができることは、少しでも長く競技を続け、良い成績を残し、福島県のスポーツを少しでも盛り上げていき、福島県で水泳教室などのイベントを開催し、若い選手たちを育成するなどして、多くの方々にもっと競泳競技を知ってもらい、このことが何らかの形で競泳選手だけでなく、他の競技の選手たちの雇用にもつながれば良いと考えています。

最後になりますが、今後も福島県民の皆様に応援していただけるように、頑張って良い成績を残していこうと思っていますので、よろしくお願いします。

● 水泳競技 競技得点27.0点 天皇杯21位 皇后杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	100m背泳ぎ	2	7	山口 雅文	ミズノ
成年女子	200m個人メドレー	2	7	加藤 和	山梨学院大2年
少年女子A	200mバタフライ	6	3	佐藤 礼菜	福島成蹊高等学校3年
少年女子B	100mバタフライ	6	3	小林 千桜	北信中学校3年
成年男子	高飛込	4	5	小林 和真	筑波大学1年
成年女子	高飛込	7	2	吉田 佳世	日本体育大学1年

● サッカー競技 競技得点20.0点 天皇杯12位 皇后杯9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	高野 聡生	富岡高等学校1年
				飯 干 雄斗	富岡高等学校1年
				板 津 勇亜	富岡高等学校1年
				松 本 昌也	富岡高等学校1年
				平 澤 俊輔	富岡高等学校1年
				高 見 優	富岡高等学校1年
				本 田 裕樹	富岡高等学校1年
				丹 羽 啄望	富岡高等学校1年
				阿 部 祐機	富岡高等学校1年
				三 瓶 陽	尚志高等学校2年
				橋 林 翔	湯本高等学校1年
				新 井 伶治	聖光学院高等学校2年
				菅 島 竜斗	聖光学院高等学校1年
				黒 木 達也	湯本高等学校1年
				飛 田 風太郎	湯本高等学校1年
				山 本 龍之介	湯本高等学校1年



サッカー競技少年男子5位
松本昌也 選手(富岡高1年)(左)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



- (左)銃剣道競技成年 菅野学 選手(右)
(自衛隊第44普通科連隊)
〈写真提供:福島民報社〉
- (中)ソフトテニス競技少年女子
半谷美咲 選手(左)
那須眺帆 選手(双葉中3年)
- (右)水泳競技成年女子200m
個人メドレー2位 加藤和 選手
(山梨学院大2年)





バドミントン競技少年男子2位
(左から)大堀均 監督 小森洋佑 選手
(富岡高3年) 松居圭一郎(同1年)
桃田賢斗 選手(同1年)



(左)バドミントン競技少年男子
桃田賢斗 選手(富岡高1年)
(写真提供:福島民報社)

(左)なぎなた競技少年女子試合競技 8位 (左から)
古館千佳 選手 須藤志帆 選手 大井川舞奈 選手
(会津学鳳高3年)(写真提供:福島民報社)
(右)自転車競技成年男子4km団体追抜競走 3位
(左から)窪木一茂 選手(日本大3年)
久保田元気 選手(学法石川高3年) 緑川竣一 選手
(学法石川高3年) 橋本龍弘 選手(日本大4年)
(写真提供:福島民報社)

● バドミントン競技 競技得点21.0点 天皇杯10位 皇后杯15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		2	21	小森洋佑	富岡高等学校3年
				桃田賢斗	富岡高等学校1年
				松居圭一郎	富岡高等学校1年

● ボクシング競技 競技得点18.0点 天皇杯14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ライトフライ級	5	2.5	片山聡一郎	東洋大学3年
	フライ級	1	8	齋藤大	福島市スポーツ振興公社
	バンタム級	5	2.5	渡部哲也	駒澤大学1年
少年男子	ライト級	5	2.5	阿部麗也	会津工業高等学校3年
	ミドル級	5	2.5	高橋潤	福島東高等学校3年

● なぎなた競技 競技得点3.0点 天皇杯18位 皇后杯18位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	試合競技	8	3	須藤志帆	会津学鳳高等学校3年
				古館千佳	会津学鳳高等学校3年
				大井川舞奈	会津学鳳高等学校3年

● 自転車競技 競技得点26.0点 天皇杯11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ポイント・レース	1	8	窪木一茂	日本大学3年
男子	4km団体追抜競走	3	18	橋本龍弘	日本大学4年
				窪木一茂	日本大学3年
				久保田元気	学法石川高等学校3年
				緑川竣一	学法石川高等学校3年



6度目で悲願

公益財団法人福島市スポーツ振興公社 齋藤 大

私がボクシングを始めたのは高校1年の時で、高校3年で国体に初出場、大学時代に4度出場しました。しかし最高位は5位で、パツとしない成績ばかりでした。大学卒業後に就職、社会人として仕事を優先するのが当然と思い、2年半試合から遠ざかっていました。忙しく仕事に追われる毎日を送る一方、「もう一度リングに立ちたい」という気持ちが沸々と湧き上がってきました。しかし、2年半というブランクがあるので、皆と同じようにやっていると勝てないと思い、普段の練習に加え、国内外の試合の動画を見て最新のテクニックを研究したり、メンタルトレーニングの本を読んだりすることで、思考に幅が出てきました。「勝ちたい。もっと強くなりたい」という想いを持ち、やらされている練習ではなく自主的に練習に励みました。

そして今年5月の全日本実業団選手権で復活、そこでまさかの優勝、併せて大会最優秀選手賞も受賞しました。続く8月の東北総体でも1回戦で昨年の国体準優勝、準決勝で昨年の全日本3位という2人の強豪相手に勝ったうえでの優勝は大きな自信となり、10月の千葉国体では上位を狙えるかもしれないと思うようになりました。

そして6度目となる国体出場。いつもは苦しい減量がうまくいき、最高の体調で臨みました。1回戦はシード。2回戦、まだまだ硬さがあり動きが悪かったものの3Rレフリーストップでの勝利でした。準々決勝では、得意の左ストレートを軸に相手に何もさせず14-1の完勝。このあたりから勢いがついてきたのと同時にキレのある動きになってきました。準決勝の社会人王者との一戦は両者一步も退かない大接戦、結果は2-2の同点でしたが、終始攻め続けた攻勢点で私の手が挙がりました。そして運命の決勝戦、不利予想の声は私の耳にも入ってきました。心の中では「絶対勝つてやる、見てろよ」と思う反面、相手の評判や国体決勝という大舞台でのプレッシャーが大きくなり、正直、恐怖心もありました。しかし試合では抜群の集中力を発揮、鉄壁のガードと得意の左ストレートや右フックが決まり、完勝といった内容でした。手が挙がった瞬間は嬉しすぎて嬉しすぎてリングの上で涙が溢れました。チームの仲間や先生方に祝福され、10年間のボクシング人生で一番最高の瞬間でした。

振り返ってみれば、試合に臨むまでのプロセスがいかに大切であり、達成するまでにいかに最善を尽くすかということに尽きると思います。自主的な練習、スパーリングや試合で経験を積み力をつけていくこと、挫けず努力すること、研究して試合にいかにか臨むか、それは悔いの残らない試合が出来たかという問いにもなります。悔いのない試合をするということは、悔いのない生き方を送ることにつながり、それは今後の人生にも活かされていくと思います。

最後に優勝という最高の結果を出せたのは多くの方々のご支援、ご指導があったからだと思っています。練習環境を与えてくださっている野宮フィットネスボクシングの野宮会長、福島県アマチュアボクシング連盟の皆様、勤務先の福島市スポーツ振興公社の皆様、応援して下さいました全ての方々に改めて感謝と御礼申し上げます。



(写真提供:福島民報社)

三年間の集大成

田島高等学校 渡部 広章



(写真左)
〈写真提供:福島民報社〉

千葉国民体育大会、この大会が高校生としての最後の大会でした。私がレスリングを始めたのは幼稚園の頃、兄や姉の影響で始めました。中学生まではあまり良い成績を残すことができませんでした。そして、田島高校に入学しレスリング部に入部しました。

1年生の頃は全国大会出場を目標として練習に励んだのですが、先輩には勝てず全国大会に出場することができませんでした。

高校2年生になり、やっと全国大会に出場できるようになりました。このことで目標が全国大会上位入賞に変わり、日々の練習に励みました。しかし、高校2年生の時の最高成績は国体5位と目標には届かず、全国大会上位入賞という目標は高校3年生へ持ち越しとなりました。高校3年生になって、以前の自分より確実に強くなっていることを練習や試合で実感していました。しかし、成績に残すことができず、伸び悩んでいるまま残す大会は2つになってしまいました。

そんな時、父でもある監督に「お前は全国で勝つための力は十分にある。でも足りないものがある。それは自信だ。もっと自分が強いという自信を持って気楽に試合をしてみろ。」というアドバイスを受けました。その日から自分の考えが変わり、試合を気楽にやろうと決めました。その結果、東北大会で優勝することができ、そのことが自信となり、この考えが間違っていないと確信しました。

そして、高校生最後の大会、千葉国民体育大会の日がやってきました。私はシード権を持っていたので、2回戦からのスタートとなりました。初戦は安定した試合で勝利をすることができ、次は準々決勝。この試合の直前に同級生の星君が96kg級の準々決勝を行い、いち早く3位以内の入賞を決定していました。私の相手は全国グレコローマンスタイル選手権2位の實力者で「次は自分が勝つ番だ。ここが山場だ。」と思い臨みました。

相手が實力者でもあるために、さすがに動きが違いましたが、「ここで焦ったら今までの自分と同じだ」と自分に言い聞かせ冷静に試合をしました。

1セットを先に取り、2セット目は相手に取られ、3セット目に入りました。グラウンド(寝技)で守りきれば勝ちという状況になり、30秒間守りきり3位以内が決定しました。

準決勝も勝ち進み、ここまできたら優勝しかないと決勝に挑みました。しかし、1セット目を僅差で相手に取られて、気持ち切り替えての2セット目。グラウンド(寝技)でポイントを取れば2セット目を奪える状況になり、得意の技で攻めたものの敗北してしまいました。勝てる試合を落としてしまいとても悔しい思いをしました。最後の大会で準優勝という成績を残せたことに喜びを感じました。

また、部長として後輩たちにも、今自分がやっている練習が正しいということを証明できて良かったです。そして何より、ここまでこれたのは自分一人の力ではなく支えてくれた多くの方々がいいたから残せた結果です。支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、次は全国優勝を目指し頑張りたいと思います。

● ウエイトリフティング競技 競技得点20.0点 天皇杯27位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	62kg級クリーン&ジャーク	6	3	黒江 雄治	本宮高等学校講師
	77kg級クリーン&ジャーク	3	6	八巻 靖	平成国際大学4年
	105kg級スナッチ	6	3	小湊 和輝	日本大学4年
少年男子	85kg級スナッチ	8	1	荒金 晃太郎	田村高等学校3年
	85kg級クリーン&ジャーク	8	1	荒金 晃太郎	田村高等学校3年
	94kg級スナッチ	6	3	山田 将	福島工業高等学校3年
	94kg級クリーン&ジャーク	6	3	山田 将	福島工業高等学校3年

● レスリング競技 競技得点25.5点 天皇杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フリースタイル84kg級	3	5.5	五十嵐 大介	男山酒造
	グレコローマンスタイル60kg級	5	2.5	水野 雄太	水野工務店
	グレコローマンスタイル96kg級	5	2.5	福田 広樹	自衛隊体育学校
少年男子	フリースタイル74kg級	5	2.5	神田 光司	喜多方桐桜高等学校3年
	グレコローマンスタイル66kg級	2	7	渡部 広章	田島高等学校3年
	グレコローマンスタイル96kg級	3	5.5	星 翔也	田島高等学校3年

● ソフトボール競技 競技得点36.0点 天皇杯8位 皇后杯16位

種別	順位	得点	選手名	所属
成年男子	1	36	佐藤 真一	郡山第七中学校教員
			斎藤 誠	(医) 崇敬会桜美苑
			菅野 崇	(有) 岡田屋製麺工場
			続橋 貴文	(株) 福島ガス保安センター
			長谷川 雅人	国士舘大学4年
			平井 恭史郎	協和ボーリング(株)
			鈴木 恭平	関東学園大学3年
			今泉 信吾	国士舘大学2年
			長谷川 佑弥	田村消防署都路分署
			大谷 直人	自衛隊福島協力本部 白河地域事務所
			小松 亮	日東紡績富久山事業センター
			穴戸 金光	桃陵中学校教員



(左)ウエイトリフティング競技成年77kg級
クリーン&ジャーク 3位
八巻靖 選手(平成国際大4年)
〈写真提供:福島民報社〉



(右)レスリング競技成年男子
フリースタイル84kg級 3位
五十嵐大介 選手(男山酒造)(上)
〈写真提供:福島民報社〉



(左)ソフトボール競技成年男子優勝
(右)レスリング競技少年男子
フリースタイル74kg級 5位
神田光司 選手(喜多方桐桜高3年)(赤)



●馬術競技 競技得点11.0点 天皇杯26位 皇后杯25位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スピードアンドハンディネス	6	3	菅野 仁	ホライゾンスポーツホース
少年	団体障害飛越	1	8	宮野 将太郎	勿来工業高等学校1年
				横山 奈緒美	小高商業高等学校2年

●空手道競技 競技得点2.5点 天皇杯27位 皇后杯21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	組手重量級	5	2.5	香川 幸允	福島県空手道連盟

●カヌー競技 競技得点12.0点 天皇杯27位 皇后杯29位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スプリント・カヤックシングル(500m)	6	3	宮田 悠佑	鹿屋体育大学1年
少年男子	スプリント・カヤックシングル(200m)	4	5	佐藤 貴充	安達高等学校3年
	スプリント・カヤックシングル(500m)	5	4	佐藤 貴充	安達高等学校3年

●フェンシング競技 競技得点12.0点 天皇杯17位 皇后杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	サーブル	5	12	田代 大幸	佐藤商事
				高木 芳健	福島キャンノン
				佐藤 直輝	法政大学2年

●相撲競技 ※個人戦は競技得点対象外

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	個人戦	3		薄 勇樹	東京農業大学4年

●トライアスロン競技 ※公開競技のため得点なし

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7		石塚 祥吾	神奈川大学3年



馬術競技少年団体障害飛越
優勝 宮野将太郎 選手(勿来工業高1年)
横山奈緒美 選手(小高商業高2年)
〈写真提供:福島民報社〉



卓球競技少年女子 松岡奈々 選手(右)
菅原亜子 選手(校の聖母学院高3年)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



フェンシング競技成年男子サーブル5位



バスケットボール競技少年男子
平龍太郎 選手(福島工業高3年)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



ハンドボール競技少年男子
村上大二郎 選手(学法石川高3年)
〈写真提供:福島民友新聞社〉



成年男子組手重量級5位
香川幸允 選手(県空手道連盟)



空手道競技少年男子形
湯田浩成選手(田島高3年)



相撲競技成年男子個人戦 3位
薄勇樹 選手(東京農業大4年)(右) 〈写真提供:福島民報社〉



カヌー競技成年男子スプリント・カヤックシングル(500m)
6位 宮田悠佑(鹿屋体育大1年)

「陸上王国福島」基盤整備事業

主催／財団法人福島県体育協会 共催／福島県 後援／福島県教育委員会 主管／福島陸上競技協会

川本塾

福島大学川本和久教授の指導理念と卓越した指導技術を受け継ぎ、すぐれた指導者を育成するプログラムが今年から開講しました。



〈写真提供：福島民報社〉



〈写真提供：福島民友新聞社〉

「陸上王国福島」トップアスリートコーチング事業

県内の中長距離選手を対象に国内外で活躍している県出身のトップアスリートから直接指導を受け、県全体のレベルアップを図る講習会を行いました。



平成22年8月4日(水)

いわき陸上競技場

柏原竜二 選手

(東洋大2年 いわき総合高卒)

酒井俊幸 東洋大 監督

(学法石川高卒)

平成22年8月11日(水)

会津若松市文化センター

および会津陸上競技場

佐藤敦之 選手

(中国電力 会津高卒)



〈写真提供：福島民報社〉



〈写真提供：福島民報社〉



〈写真提供：福島民報社〉



〈写真提供：福島民報社〉

平成22年9月26日(日)

田村市文化センター

および田村市陸上競技場

藤田敦史 選手

(富士通 清陵情報高卒)

財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業

ひろみち
お兄さんと
いっしょ!

親子 体操教室

生涯スポーツキャンペーン2010



生涯スポーツキャンペーン2010「親子体操教室」を平成22年10月10日(日) たまかわ文化体育館(玉川村)で開催しました。講師には、今年もひろみちお兄さん(佐藤弘道氏)をお迎えし、県南・県中地区中心に3~6歳の未就学児とその保護者、約600名の参加がありました。

開始1時間前には朝から降っていた雨もあがり、参加者の親子が続々と来場すると、体育館内は子どもたちの元気な声でいっぱいになりました。



子どもたちの「ひろみちお兄さん!」の元気な呼びかけで体操教室はスタート。歌や音楽に合わせてのプログラムはどれも楽しく、親子の笑顔があふれました。後半、ちょっと疲れ気味のお父さんやお母さんも見られましたが、最後まで子どもたちを持ち上げたり、支えたりしながらがんばっていました。終了後、会場を後にする親子の笑顔が印象的でした。

今回は、近隣の幼稚園・保育所の先生方やうつくしまスポーツルーターズの方々など、合わせて23名のボランティアスタッフの協力も得ることができ、運営を支えていただきました。



生涯スポーツキャンペーン2010 「うつくしまスポーツラリー2010」

「スポーツをする・みる・支える」人を応援するキャンペーン「うつくしまスポーツラリー2010」を実施しました。期間中(平成22年6月10日~10月6日)に参加したスポーツ活動・イベント等の内容を応募用紙に記入し応募してくださった方の中から抽選で200名に「チームふくしま」応援Tシャツをプレゼントしました。スポーツは、「する・みる・支える」などいろいろな楽しみ方があるので、今後も幅広い生涯スポーツキャンペーンを展開していきたいと考えております。



第23回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクとやま2010

きときとスポレク きてきて富山

大会報告

今年で第23回を迎えた「全国スポーツ・レクリエーション祭」が、平成22年10月16日(土)～19日(火)の4日間、富山県で開催されました。「全国スポーツ・レクリエーション祭」は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深める生涯スポーツの一大祭典です。

今年は、「きときとスポレク きてきて富山」のスローガンのもと、富山県内15の全ての市町村で、18の都道府県代表参加種目と11のフリー参加種目が行われました。

本県からは、本多勉福島県レクリエーション協会長を団長とする159名の選手団(17種目)が参加し、富山県各地の会場で全国各地から集まった選手と熱い戦いを繰り広げるとともに交流を深めました。来年は、栃木県で「スポレク“エコとちぎ”2011」が開催されます。



種目名	本県参加チーム名	会場地
グラウンド・ゴルフ	キビタン	高岡市
ゲートボール	泉崎村・矢祭ニュータウン	富山市
壮年サッカー	県南シニアサッカークラブ	富山市
ソフトバレーボール	K S C	射水市
女子ソフトボール	相馬レディース	射水市
ラージボール卓球	チーム会津	高岡市
ターゲット・バードゴルフ	会津若松市T B G協会	砺波市
男女混合綱引	若宮会	射水市
年齢別テニス	ふくしまテニス友の会	富山市
年齢別ソフトテニス	郡山市安積テニスクラブ	高岡市
バウンドテニス	牧場の朝鏡石	滑川市
年齢別バドミントン	ラブオール・プレー	高岡市
壮年ボウリング	きびたん	富山市
マスターズ陸上競技	福島	富山市
インディアカ	野馬追の里南相馬	南砺市
フォークダンス	スウィング	氷見市
トランポリン	コラッセ福島	立山町



ふくしまスポーツフェスタ 2010 in きたかた

兼 第30回福島県レクリエーション大会

「ふくしまスポーツフェスタ」は広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資することを目的とし、福島県レクリエーション協会と福島県が主催しています。

今年は10月2日(土)と3日(日)の2日間(一部10日)、喜多方市を会場に25種目が開催されました。喜多方市の協力のもと、各競技団体が前日や朝早くから準備を整え、万全の体制で参加者を迎え入れました。青空のなか各会場では、チーム間や地域間の交流が盛んに行われ、総勢3,767名の参加者は、スポーツ・レクリエーションを大いに楽しむことができました。



※県体育協会が委託して実施した「体験ひろば」の様子

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 インディアカ | 14 パークゴルフ |
| 2 綱引 | 15 フライングディスク |
| 3 ターゲット・バードゴルフ | 16 スポーツチャンバラ |
| 4 オリエンテーリング | 17 健康ウォーキング |
| 5 ソフトバレーボール | 18 キャンプ |
| 6 グラウンド・ゴルフ | 19 フォークダンス |
| 7 ペタンク | 20 武術太極拳 |
| 8 ディスクゴルフ | 21 レクリエーションダンス |
| 9 キンボール | 22 日本民謡 |
| 10 木球 | 23 社交ダンス |
| 11 バウンドテニス | 24 3B体操 |
| 12 ラージボール卓球 | 25 体験ひろば |
| 13 スポーツ吹矢 | |

日本体育協会・日本オリンピック委員会 創立100周年記念シンポジウム開催報告

日体協・JOC創立100周年記念シンポジウムが来年にかけて全国4会場で行われますが、全国トップをきって10月23日(土)郡山市のビックパレットふくしまで、県内外から867名の参加者を集めて開催されました。

川淵三郎氏(日本サッカー協会名誉会長)が「夢があるから強くなれる」という演題で基調講演を行い、その後『スポーツによる「公正で福祉豊かな地域生活」の創造』をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。パネリストには福島県出身の増子恵美氏(県障がい者スポーツ協会)、高倉麻子氏(サッカー指導者・解説者)をはじめ、ヨーコ・ゼッターランド氏(スポーツキャスター)、鈴木直文氏(一橋大学講師)が顔をそろえ、仲澤真さん(筑波大学准教授)をコーディネーターとして21世紀のスポーツビジョンについて、意見が交わされました。



川淵 三郎 氏



増子 恵美 氏

平成22年度 (財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

●期日 平成22年11月13日(土)～14日(日)

●会場 福島テルサ

●講師 堀川 哲男先生(公立藤田総合病院) 吉田 仁郎先生(ARCクリニックよしだ整形外科)
待井 一男先生(待井循環器科内科クリニック) 大歳 憲一先生(福島県立医科大学)
中澤 謙先生(会津大学文化研究センター) 小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)
鬼澤 武則先生(日体協公認AT)

●内容 県体育協会加盟団体および市町村体育協会からの推薦者11名を対象に2日間にわたり専門科目の集合講習が行われました。アスレティックトレーナーの役割、スポーツ心理学、スポーツ外傷・障害の基礎知識、内科的障害、検査・測定と評価、予防とコンディショニングなどについての講義・実技を通して、受講者はATとしての資質の向上に努めました。認定ATもスキルアップのために3名参加しました。

カリキュラムには、今回の講習に加え、基礎科目として救急法講習や日本体育協会の「スポーツリーダー」講習があり、受講者は今年度中に全てを修了することになっています。

本協会では、AT部会の活動や研修会等を通して、情報の提供・交換・共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結びつけていきたいと考えています。



平成22年度 第1回 福島県スポーツ指導者研修会 会津ブロック研修会

「コーディネーショントレーニングの理論と方法、その実際について」

福島県スポーツ指導者協議会では、年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、平成22年10月24日(日)に会津若松市の「会津大学」にて開催しました。

NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会(JACOT)より菅野美津枝事務局長、渡部琢也先生、小野覚久先生をお迎えし「コーディネーショントレーニング」の基本的な考え方や理論、連結能力を中心とした実技などをわかりやすく指導していただきました。

受講者は、今後の指導に生かそうと真剣なまなざしで、講義や実技に取り組んでいました。



● 福島県ゴルフ連盟様よりご寄付をいただきました ●

平成22年11月1日(月)いわきゴルフクラブにおいて、『福島県ゴルフ連盟45周年記念事業 ゴルフフェスティバル決勝大会』が開催されました。その表彰式の中で、福島県ゴルフ連盟様から財団法人福島県体育協会に50万円の寄付が贈呈されました。

この度は貴重な浄財をいただき心より感謝申し上げます。

県内のスポーツの振興と普及に役立てさせていただきます。



渡辺勝福島県ゴルフ連盟会長
(右)より目録の贈呈が行われました。



協会を代表し御礼のあいさつをする 宗形 守敏 副会長

みんなでつくろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

ゆがわ Myまいクラブ

私たちの住む湯川村は「村民が主役のむらづくり」「健康から始めるむらづくり」の基本理念を掲げ、“米と文化の里”をキャッチフレーズにしています。クラブ名はそれにあやかり、「ゆがわMyまい（米・米）クラブ」と命名して活動をしています。

我がクラブは平成20年2月に発足し3年目を迎え9種目のサークルの中に幼児からシニアまで多くのクラブ員が思い思いに楽しんでいます。体験教室やイベント事業も組み入れ地域の皆さんにも楽しんでもらっています。中でもイベントの一つに講演会の開催があります。毎年スポーツに関してそれにふさわしい人を招きクラブ員はもちろん村民の方々にも好評を得ています。

いつでも・どこでも・いつまでも、運動に親しむ環境を整え、ゆくゆくはこのスポーツクラブから素晴らしいアスリートが誕生してくれればと思いますが、まだまだ難題は多くあります。それはクラブ員の中に中・高校生や若い世代の層が少ないということです。その世代を引き込み年代層を豊かにして楽しめるスポーツクラブへと展開していきたいと思っています。

また、総合型地域スポーツクラブをとおして地域の子供が育成され、夢のある活力がある地域づくりと地域住民のために生かされ還元できるような活動をしていきたいと思っています。

〈お問い合わせ〉

ゆがわMyまいクラブ事務局（湯川村公民館内）

〒969-3544

河沼郡湯川村大字清水田字長瀬17番地

TEL.0241-27-4107 FAX.0241-27-8826



講演会



ハイキング



グランドシニア体操



体操教室

平成22年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会
(有) 吾妻印刷
福島県議会スポーツ振興議員連盟
福島交通(株)
(株) 古瀧
開場建設(株)
富岡町体育協会
福島トヨタ自動車(株)
東京電力(株) 福島営業所
クレハ(株) いわき事業所
(株) 日進堂印刷所
名木製帽店
福島ガス(株)
六陽印刷(株)
名鉄観光サービス(株)
(株) トヨタレンタリース福島
福島観光自動車(株)
福島銀行
(株) ル・プロジェ
医療法人 護国グループ 郡山整形外科リハビリテーション科
第一温調工業(株)
川俣貨物(株)

(株) クラロンスポーツ
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
磐城通運(株)
(株) ファルテック福島工場
(株) モリヨシ技研
東北建設(株)
福島県中央商工振興協同組合
タニコー(株)
東北電力(株) 福島支店
福浜大一建設(株)
堀江工業(株)
(株) 松崎
(株) ダイユーエイト
(有) エンドースクリーン
スポーツニッポン新聞社福島支局
(株) テレビユー福島
トーアエイヨー(株)
福島トヨペット(株)
(株) サンベディング福島
医療法人 待井循環器内科クリニック
(株) 佐藤信博建築設計事務所
セントラルウェルネスクラブ福島

福島県商工信用組合
キング印刷(株)
(株) 東館
(株) 東北装美
福島県ゴルフ連盟
(株) ひらい
原町港湾運送(株)
(株) 福島中央テレビ
(株) 山川印刷所
(株) 加地和組
トップツアー(株) 福島支店
(株) 海老名建設
(株) ヤクルト本社福島工場
(株) NIPPOコーポレーション福島支店
(株) レオックス東北
(株) 福島放送
アルバイン(株)
(有) 和田印刷
(株) プロセス印刷
齋藤整形外科医院
大宝建設(株)

福島県信用金庫協会
(株) 福島民報社
福島テレビ(株)
ゼビオ(株)
(株) ウエディングエルティ
東開クレテック(株)
福島日産自動車(株)
橋本町体育協会
(株) 民報印刷
クレハ錦建設(株)
大塚製菓(株) 郡山出張所
(株) 高橋建設
寿建設(株)
北斗印刷(株)
(有) 新潟総合学院FSG専門学校グループ
県高等学校体育連盟
白河信用金庫
東北索道協会福島地区部会
川井魚店
有限会社 むもん
(株) ヤスタ創建

福島県信用保証協会
福島民友新聞(株)
東信建設(株)
(株) 環境分析研究所
(株) クレハ環境
庄司建設工業(株)
福島県建設業協会双葉支部
クリナップ(株) いわき事業所
小名浜製錬(株) 小名浜製錬所
福島運送(株)
陽光社印刷(株)
江花建設(株)
福島ヤクルト販売(株)
オノヤスポーツ(株)
(株) 日産サティオ福島
ヤマハ発動機(株) 東京営業所
福島信用金庫
竹屋旅館
喜多方観光バス(株)
ワタナベカーペット(株)
東栄物産(株)

個人の部(加入順)

片吉 本服 荒荒 渡平 菅松 渡瀬 山米
平田 田部 川山 辺石 野村 部井 田沢
俊政 俊啓 信洋 家泰 正孝 和常 修
夫勝 教吉 郎進 司治 典勝 美朋 雄志

下林 花 穴 渡瀬 藤山 渡平 関永 佐
山田 井戸 辺藤 田山 根井 藤
好幸 宣正 正 彌五 兵衛 知勝 夫美 一史
宏夫 明幸 仁博 知勝 夫美 一史

男作 一祐 司之夫 彌満 秀男 豊一
孝耕 光義 隆博 卓 雅公 洋
村木 木藤 井邊 橋川 田石 崎
北朽 星鈴 伊閑 酒渡 高古 御白 野

尚夫 一敬 彦彦 樹英 典治 恵慈 造
忠裕 讓勝 武弘 一康 新満 俊卓
宿本 井藤 田藤 藤根 野藤 本崎 木
本岩 国佐 滝佐 佐白 高佐 坂森 八

男郎 一隆 男徹 志昭 之三 治満 彦
久源 浩 美智 男孝 千政 秀敏 一
藤嵐 木本 野沼 田橋 本谷 藤田 松
斎五 鈴福 神柳 富高 福深 武掘 小
次長 徹均 二治 伸男 一秋 子弘 典
十 俊清 良 祀 陽 豊 和 政 正
藤田 田藤 形川 澤藤 地田 本合
佐前 岩遠 宗長 矢佐 野太 山橋 森

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、14年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間………入会後5年間 ●協力金額………毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
●加入窓口………財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2011年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

第3回福島県スポーツ指導者研修会

期日 平成23年1月30日(日) 会場 サンフレッシュ白河
締切 平成22年12月28日(金)
問合せ先 (財)福島県体育協会 生涯スポーツ係 024-521-7896

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- ① 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- ② FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- ③ メールによるご相談 info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

今年はサッカーW杯が南アフリカで開催されましたが、日本チームの堂々たる試合ぶりに私たちはとても感動しました。また、先日広州でおこなわれましたアジア大会においては、本県出身またはゆかりの選手がたくさん活躍しました。

スポーツがもつ様々な力を県民の皆様に伝えていけるよう努力してまいりたいと思います。

インフォメーション

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成・定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター(県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター(富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

会津広域スポーツセンター(会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内)

会津若松市一貫町大字八幡字八幡2の1
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

傷害保険

賠償責任保険

共済見舞金

スポーツ安全保険



対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成22年4月1日午前0時より平成23年3月31日午後12時まで(申込受付は平成22年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 (団体活動を行う5名以上の方で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。)

5+
5名以上の団体で
ご加入ください

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	共済見舞金
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,150円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	180万円
				日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。				身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上 スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で10人しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※掛金には(財)スポーツ安全協会が運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

Web

スポーツ安全協会

検索



財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

(福島県体育協会内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館 TEL 024-526-4600 電話受付時間:午前8時30分～午後5時30分(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険等)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をご確認ください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成22年4月予定)) ※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 ニッセイ同和損害 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上
平成21年12月作成 1310-09-247